

農山漁村地域整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の名称	「力みなぎる・やまなし」健全な森づくりと力強い林業振興計画
	計画作成主体	山梨県
	対象市町村	甲府市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、身延町、南部町、富士川町、道志村、忍野村、鳴沢村
	計画期間	平成22年度～平成26年度
	計画の目標	山梨県の人工林資源は充実しつつあり木材として利用可能な段階にあるものの、県内の素材生産は林内路網整備の遅れにより林業生産性が低く事業体の経営も安定しない状況である。 このため効率的な林業経営に不可欠な林内路網を整備することにより、山梨県産材の安定供給の推進を目標とする。
	評価指標	林道整備により、間伐を中心とした森林整備を推進し素材生産量を増加させる。 平成21年度末素材生産量165,000m ³ →平成26年度末素材生産量244,000m ³
対象事業	森林整備事業	
全体事業費	1,249,000千円	

項目	評価細目	評価	説明
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	地域森林計画及び山梨県県有林管理計画に沿った目標となっている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題である県産材安定供給に対応した目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	整備計画の目標として適当な定量的指標となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事業完了時に確認できる指標となっている。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっている	○	事業の実施により発現する効果が指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	事業実施に必要な予算、技術力、執行体制は、各実施主体において整っている。
	2 地元の意向が反映されているか	○	地元関係者から同意および理解を得られている。

ランク	評価基準	判定基準	評価結果
評価Ⅰ	全項目が○である	事業実施	
評価Ⅱ	1項目でも×がある	計画の見直し	

評価Ⅰ